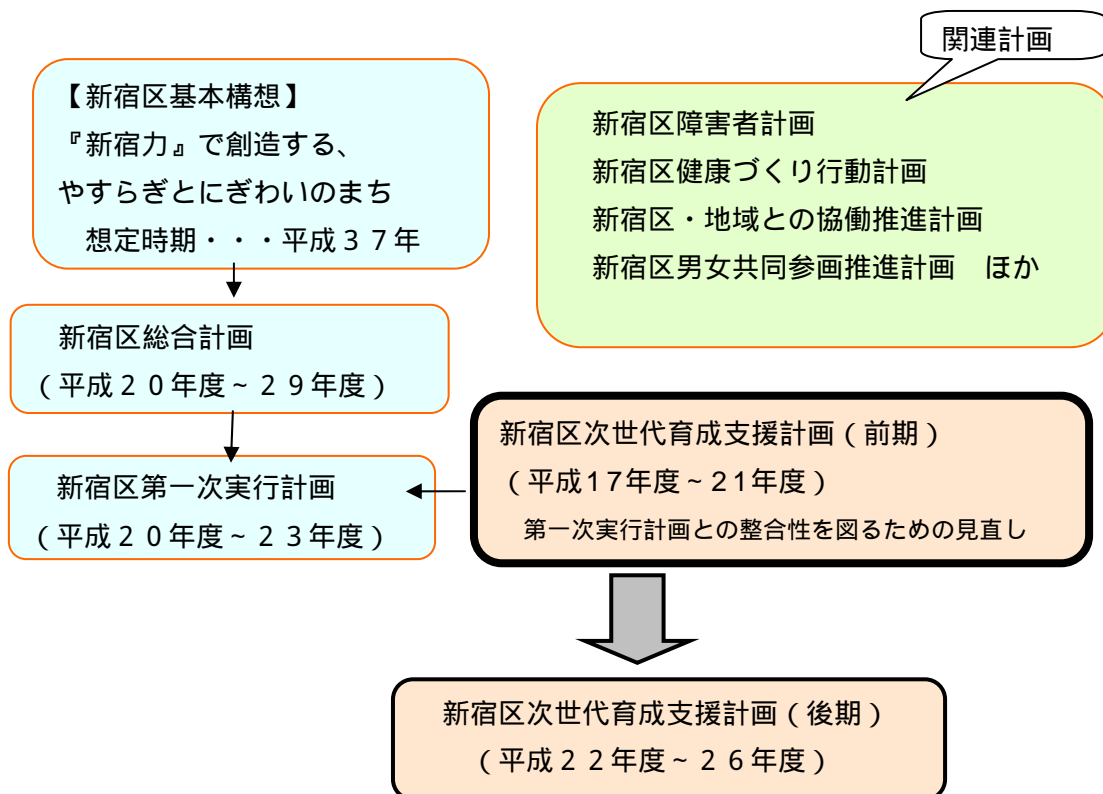
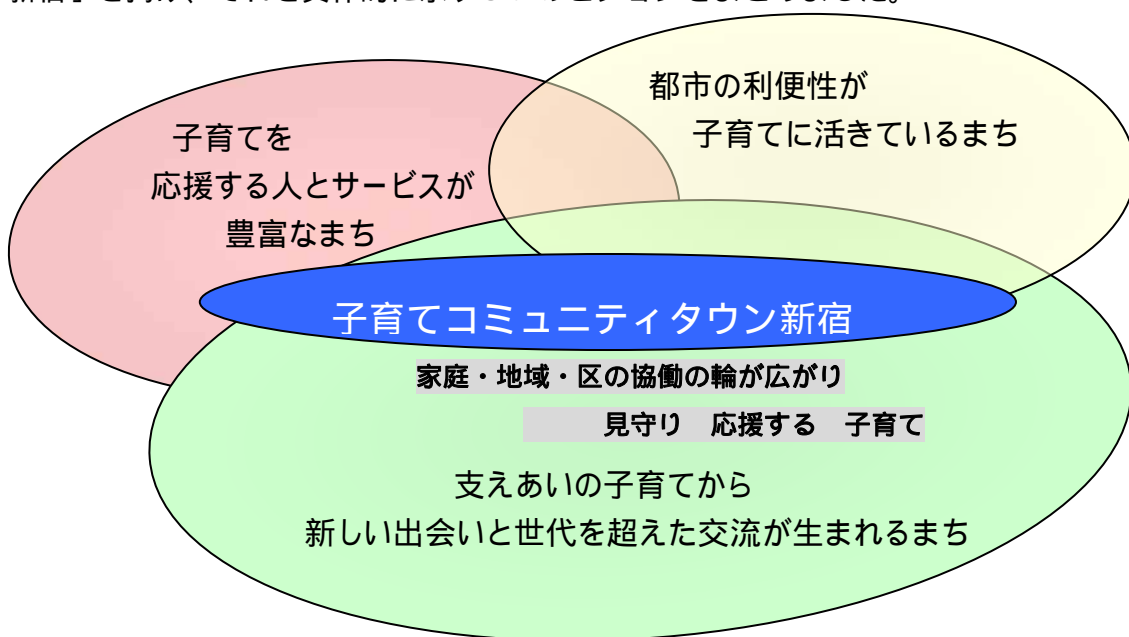


## 1 目的

この計画は、少子化社会に的確に対応するため、乳幼児期から青年期までを見通した次世代育成支援について、新宿区が今後めざしていく方向性と施策について発信し、共に考え、実現していくことを目的として策定しています。

少子化社会を乗り越えていくために、基礎自治体としての新宿区が担う役割は、「子育てしやすいまち」の実現です。その総合ビジョンとして「子育てコミュニティタウン新宿」を掲げ、それを具体的に示す3つのビジョンをまとめました。



## 2 新宿区の次世代育成支援をめぐる課題と方向

### 自然環境・遊び場

自然や広々した空間などは豊かではない

### 子ども・若者の状況

インターネットや携帯電話の普及  
若者が自立しにくい社会

### 家庭の状況

核家族家庭・ひとり親家庭・共働き家庭の増加  
単独世帯の割合が高い  
居住者の約 1 割が外国人

### 乳幼児の子育て家庭

0 歳～2 歳の約 7 割は家庭で育児している  
子育てがいつもつらいと感じている保護者が  
約 5% いる  
乳幼児の母親の子育てに対する負担感は、就労  
形態がパート・アルバイトの層で高い傾向がある

### 地域の特性

人口の流動性・匿名性が高い  
遮蔽性の高い住居の増加

### 子育て支援サービスの状況

子育て支援の基盤整備は進んでいるが、さらなる  
充実と実施方法等の工夫が求められている

### まちの環境

放置自転車対策・安全な歩道の整備など  
交通バリアフリーに関する課題がある  
子どもの安全に不安を抱く保護者が多い

豊かな子ども時代を保障するとともに、次代を担う自立する力を育てるためのハード・ソフト両面からの取り組みが求められている。

子育て家庭の多様なニーズや子ども観に対応した施策が求められている。  
ひきつづき子育てと仕事の両立支援及び在宅で子育てしている家庭へバランスのとれた支援が必要。

みんなで子どもを見守り・育てることができる地域づくりを進める必要がある。

サービスの質の向上と効果的な提供への工夫が必要である。

子育て家庭にも安全・安心なまちづくりが求められている。

### 3 施策目標

#### 基本的な視点

子どもの権利を大切にし  
子どもの幸せを  
第一に考える視点

特に大切にしたい3つのポイント

子どもたち自身の生きる力と育つ力  
子どもと大人のパートナーシップ  
子どもたちの社会への参画

家庭の多様なあり方を  
尊重する視点

子育てを社会全体で  
支援する視点

サービスの質の向上と  
効果的な提供をめざす視点

#### 目標1 子どもの生きる力と豊かな心を育てます

子ども時代は一生の土台を築くかけがえのない時期です。次世代の親となり未来を担う子どもたちが、幅広い知識・考える力・豊かな感性及び生活力を身につけることができるよう、教育環境や地域の育成環境の充実を図っていきます。

#### 目標2 きめこまやかなサービスで すべての子育て家庭をサポートします

すべての子育て家庭が、心にゆとりを持って子育てができるよう応援するため、子育て支援サービスを点から線につなげ、さらに面へと広げることにより、サービスを必要としている人が利用しやすいサービスを実現していきます。

#### 目標3 子育てと仕事の両立がしやすい 環境づくりを進めます

現代の多様な働き方に対応した多様な保育・学童クラブサービスの充実を図っていきます。

また、家族が協力して子育てと仕事の両立を目指すことができるよう、子育て家庭に配慮した取組みの促進について企業への働きかけを行っていきます。

#### 目標4 家庭・地域の 子育て力・教育力をアップします

子どもの成長と子育て家庭を応援するサポーターが、地域の中に生まれるような取組みを進めていきます。

子育て中の人も、支えられるだけでなく、できる範囲で、支える側にもなるような仕組みづくりを行うとともに、その意識の広がりを促していきます。

#### 目標5 安心して子育てできる 都市環境をつくります

家庭・学校・警察・地域・区・保健関係機関等が連携し、子どもたちを犯罪や事故から守るための活動を行うことにより安全なまちをめざします。

繁華街が多い地域性を考慮した非行防止活動への取組みを進めていきます。

事業者とも連携しながら子育てバリアフリーの推進、子育てしやすい住環境の整備等を進め、都市の利便性を活かした子育てしやすいまちづくりをめざします。